

# 競技コースレイアウト

## 1 コース説明

コース路面には、幅 0.45, 0.9, 1.35m の緑色シートを使用します。

ラインは幅 18mm の黒色ビニールテープです。

図 1 にコースレイアウトを示します。(ただし、 $a=225\text{mm}$ )

**ライントレース** ショートカット防止のため、1 点鎖線部に障害物を設置します。

この障害物は、距離センサが反応する大きさです。

**迷路**

壁は高さ 15cm, 幅 5cm のスタイロフォームです。

直径 12.5cm, 高さ 15cm 程度の障害物があります。

直径 30cm の円盤が通過できる通路です。

**標的倒し**

2 個の標的を倒します。

標的のある方向を示すガイドテープが路面にあります。

標的を倒すために用具は危険なものではないこと。

エアガンのような「飛び道具」は禁止します。

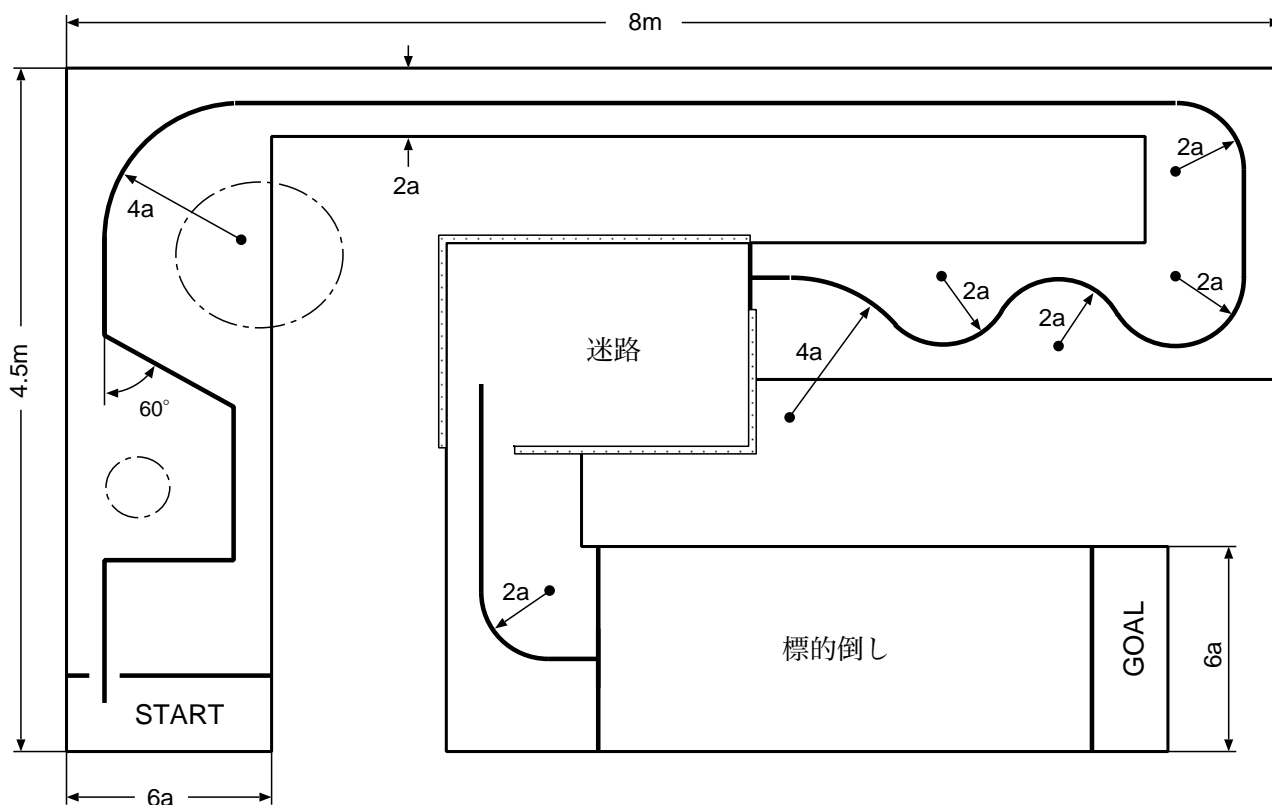


図 1: 競技コースレイアウト

## 2 迷路

【レイアウト】 迷路のレイアウトを図2に示します。中央エリアに3個の障害物があります。障害物の位置は不明です。

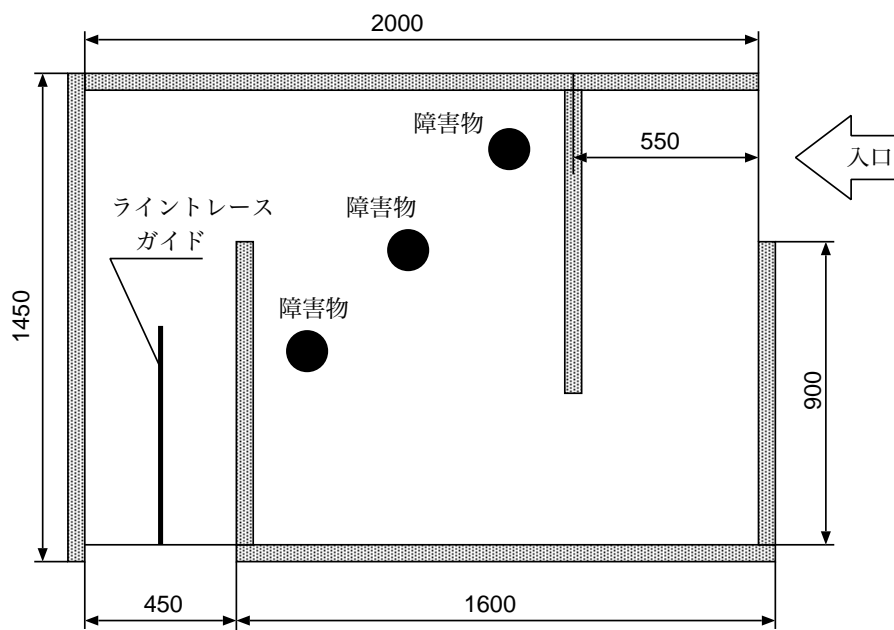


図 2: 迷路レイアウト

【障害物】 3個の障害物があります。全て同じ形状です。

- 直径 125mm、高さ 150mm です。
- 表面は黄色に塗装されています。
- ロボットが障害物を動かしたり、持ち上げる  
ことのできない程度の重量です。



図 3: 障害物

### 3 標的倒し

【標的形状】 標的部を図4に示します。

- 標的は写真の黄色の部分で、押すと倒れます。標的の周りはガードされています。
- 標的は30mm厚のスタイロホームで、形状を図5に示します。標的の底部にM12の六角ボルトが埋め込まれています(図6)。
- ガードを固定するためにベース板に25mm厚の鋼材を使用しています。ベース板と標的の位置関係を図7に示します。

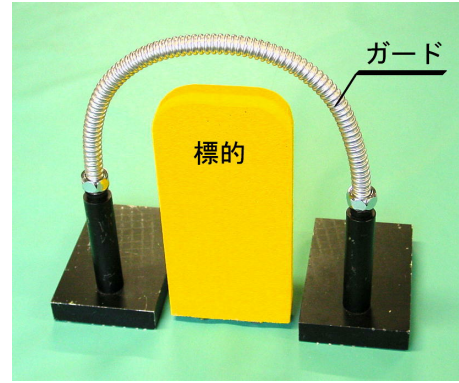


図4: 標的部外観

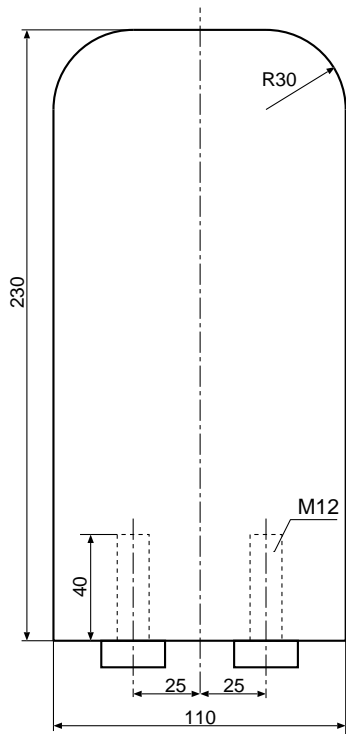


図5: 標的形状

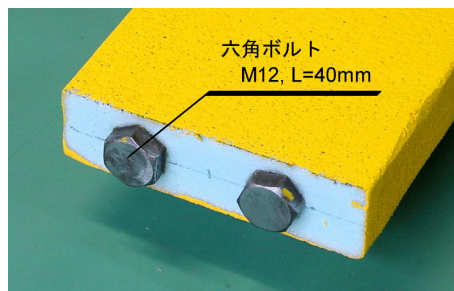


図6: 標的底部

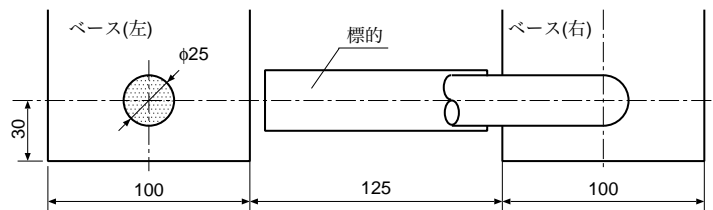


図7: 標的とガード部のベース

【標的位置】 標的(2個)はエリアの左側と右側に置きます。

- 標的のある方向を示すため、ガイドテープを路面の中央部に貼ります。
- テープが2本の場合は左側、3本の場合は右側に標的があります。
- テープの長さは50cm, テープ中心線間隔は5cmです。

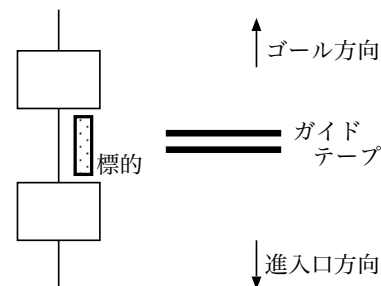


図8: ガイドテープの例